

## NPO パートナーシップ協力プログラム 事業終了報告書

団体名 特定非営利活動法人 NPO おはこぎき市民会議

代表者名 理事長 佐藤 啓太

### 1. 事業名

漁業者の担い手育成事業「漁業の学舎（ウミガッコ）」

### 2. 事業カテゴリー

夢を応援

### 3. 事業期間 R3年6月15日 ～R4年3月31日 (290日間)

### 4. 契約金額

2,277,500円

### 5. 担当者名

佐藤啓太

### 6. 事業目的

子どもたちに漁業に触れる機会を提供することで、将来の漁業を担う人材育成を行う。釜石や三陸沿岸の漁業を活性化し、若者が漁業を通して積極的にまちづくりに関わり活躍する地域を目指す。

### 7. 事業の成果

県内の多くの子どもたち（小中学生延べ100名以上）に漁業体験を実施し、三陸の漁業の魅力を体感してもらうことができた。子どもたちが漁業に触れる機会を提供することで原体験の機会となり、将来の進路選択の一つとして漁業を検討する子どもが増えることが期待できる。特に沿岸部の子どもたちには、地域の他団体とも連携することで、地域の大人との交流や水産業の学習をとおして郷土愛の醸成もでき、直接的な将来の担い手育成の機会となった。

また、当法人の事務局体制が新体制となった初年度であったが、本事業を通して漁師や漁協など地域団体等とも改めて連携体制を作ることで、継続的な事業実施体制を構築することができた。

さらに、事業実施期間中に、岩手県独自の緊急事態宣言が発令されるなど、新型コロナウイルス感染拡大により先の見通しが立たない時期を経たなかで地元需要の獲得や、近隣団体との新たな連携が生まれたことも成果の一つである。

### 8. 事業種別（コンポーネント）ごとの成果

#### (1) コンポーネント① 「子どもたちへの漁業体験提供（団体受け入れ）」

主に小中学校や地域団体を受け入れ、漁業体験や震災伝承、防災教育を行った。

裨益者目標は、小中学生160名の予定に対し、実績は79名であった。地元漁師等40名に対し、実績は

17名であった。目標未達の原因は新型コロナウイルス感染拡大の影響で複数の受け入れ予定が中止となってしまうことがあげられる。一方で、県域をまたぐ移動の自粛による副次的な効果として、県内の学習体験を狙って沿岸を訪れる小中学校の需要が増加した。

【団体受け入れ実績】

日付	内容・受け入れ団体	参加人数	スタッフ人数
6/18	北上市立更木小学校	7名	2名
7/7	釜石市立東中学校	44名	11名
8/3	福岡県大野城市中学生	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
9/10	花巻市立湯本中学校		
9/28	宮城県仙台市立岩切中学校		
11/1	二戸市立浄法寺小学校	28名	4名
3/14	岩手大学三陸水産研究センターによる研究成果報告会を体験受け入れ漁師やスタッフが聴講し、体験参加者に水産業の先進事例を紹介するためのノウハウ蓄積を図った。		

【体験コンテンツ作り】

IoT や AI 技術について先進的な活動をしている、大船渡市の(株)地域活性化総合研究所を訪問し、スマート漁業（IoT 技術により、海流や風向き、水温などのデータをモニタリング、分析することで、よりよい漁場の探知や海上での作業の省力化など、漁の効率化を図る技術）に触れる体験コンテンツ作りに着手した。AI 学習のデモ体験をさせたのち、漁業の課題を提示して課題解決をグループで検討させる思考練習などを通して子どもたちに漁業に興味を持たせることを狙いとした。

また、体験コンテンツの拡充と柔軟な受け入れのために新たな漁法の体験（刺し網・地引網体験など）について漁師さんと検討した。

(2) コンポーネント② 「他施設と連携した子どもたち・一般客への漁業体験提供」

地域の他施設やイベント、観光振興活動と連携し一般客を受け入れ、子どもたちを中心に漁業体験を実施した。

裨益者目標は、受け入れ客 80 名の予定に対し、実績は 189 名であった。地元漁師等 20 名に対し、実績は 32 名であった。

【地域連携一覧】

日付	イベント名・受け入れ団体	関係・連携団体	参加人数	スタッフ人数
7/22-23	根浜あおぞらビーチパーク	あおぞらパーク実行委員会	19名	2名
9/16	岩手消防学校	(一社)根浜 MIND	59名	4名
10/12	盛岡第三高校	(一社)根浜 MIND 連携	42名	4名
12/11	ワーケーション受け入れ	(株)かまいし DMC	9名	4名
12/26	根浜あおぞらパーク	あおぞらパーク実行委員会	50名	15名
3/21	ワカメ芯割き体験	自然あそび広場にここ	10名	3名

(3) コンポーネント③ 「漁業体験の活動記録・発信」

体験の様子を撮影し、動画を SNS や YouTube 上で公開し活動や漁業について情報を発信することで、広く漁業の理解を深めるための一助とすることができた。

動画視聴回数は目標 500 回に対し、実績は 1,000 回以上 (YouTube、Instagram 等合算) であった。

- ・釜石東中学校 2 年生の職業体験の様子を、7 本のショートムービーに編集  
「漁協組合長のお話」、「漁師の孝郎さんのお話」、「体験の様子」、「ホタテのはたき作業」、「生徒カメラマンによるインタビュー」、「NPO 理事長の想い」、「生徒・先生の感想」
- ・釜石東中学校 2 年生の体験の様子を発信  
釜石市主催のオンラインイベント 2 件 (移住定住、市民団体活動紹介) にて実施。
- ・あおもり創生パートナーズ視察受け入れ  
釜石東中学校 2 年生の体験動画の反響として、青森県の「あおもり創生パートナーズ」より漁業体験の視察の依頼があり受け入れを行った。受け入れ時には、実際の体験現場見学や内容・流れの説明をする中で、随時東中学校の体験動画を用いて説明した。  
当該企業は青森県より委託を受け、漁業体験を観光コンテンツとして造成するべく、大手旅行会社や地元漁協と連携し、観光客の誘致を目指している。
- ・ワカメ塩蔵体験撮影  
ワカメの塩蔵作業工程、体験の様子を分かりやすく撮影、編集した。インバウンド需要への対応も目指し、英語テロップの追加や英語のナレーション入りバージョン動画も作成した。

## 9. 事業全体を通じて得た教訓や課題等

新型コロナウイルス感染拡大のように、人々の移動が制限される状況下では、そもそも漁業体験に訪れる団体が激減してしまい、事業の遂行ができなくなってしまうことは想定外であった。その中で、県内の需要の高まりや地元の地域づくり団体との様々な協働の形が生まれるなど、プラス面に働いた要素もあった。

今後、また移動制限などのような事態が発生した場合にも対応できるよう、県内の体験者とのつながりや地元団体との連携を継続・発展させていく必要があると考えている。

## 10. 協力体制の構築

事業実施にあたって協力いただいた団体は下記のとおり。

- ・コンポーネント①で協力  
釜石東部漁業協同組合、箱崎半島部の漁師、(株)地域活性化総合研究所、岩手大学
- ・コンポーネント②で連携  
(株)かまいし DMC、根浜あおぞらパーク実行委員会、一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校、一般社団法人根浜 MIND、(株)8kurasu

当法人の事務局体制が新体制となった初年度であったが、本事業を通して漁師や漁協など地域団体等とも改めて連携体制を作ることで、継続的な事業実施体制を構築することができた。

また、新型コロナウイルスの感染対策を徹底した子どもの遊び場づくりを目的に設立した「根浜あおぞらパーク実行委員会」に参画したことにより、さまざまな企業や団体、行政、医療関係者と連携する機会となった。感染症対策にとどまらず、今後の地域発展のためにつながりを継続することは実行委員会関係者の共通認識である。

## 11. Civic Force との協働について

事業実施期間中に一時、岩手県独自の緊急事態宣言が発令されるなど、新型コロナウイルス感染拡大により

先の見通しが立たない時期もあったが、状況を応じて相談対応ができ、柔軟な事業実施ができた。